

2025 年度業務実績報告書

提出日 2026 年 1 月 16 日

1. 職名・氏名 准教授・篠原秀文

2. 学位 学位 博士（農学）、専門分野 植物生化学、授与機関 名古屋大学、授与年 2009 年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 1. 分子生物学Ⅱ（2 単位）・3 年時 2. 分子生物学実験（2 単位）（分担）・3 年時 3. 生物資源学概論（2 単位）（分担）・2 年時 4. 生物資源学概論Ⅰ（2 単位）（分担）・1 年時 5. 化学実験（2 単位）（分担）・1 年時
②内容・ねらい 分子生物学の基礎的知識、思考、および具体的な操作を身につけるため。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 1. 毎回の講義用スライドを資料として印刷配布し、復習しやすくした。また各章の終了時にまとめと演習を行う時間を設けた。動画資料や YouTube を講義に取り入れることで理解度を上げる工夫をした。毎回、講義冒頭に前回の復習の時間を設け、また学生から挙げた質問に回答する時間を設けた。 2. 他分野担当の実験内容を把握し、同様な実験の繰り返しにならぬよう注意した。学部生では使う機会のない先端機器の使用を体験できるよう内容を工夫した。 3. 4. 学生生活のアドバイスから自身の研究内容に至るまで、幅広い内容が紹介できるよう心がけた。特に副担任を務めている対象の 4.では、初回をガイダンス形式にし、スムーズな新生活のスタートをアシストした。 5. 本年度より新規に担当した。前任者の内容を踏まえつつ、新しい実験を取り入れることで、より幅広い化学の知識と実験操作を学べるように工夫した。
(2)その他の教育活動
内容

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書	【0本】
②学術論文（査読あり）	【0本】
③その他論文（査読なし）	【0本】
④学会発表等	【8件】
*1.「根をもたないコケ植物ゼニゴケの RGF オーソログ・MpRGF の機能解析」第 66 回日本植物生理学会年会（2025 年 3 月）<u>篠原秀文</u>、古水千尋、岩島亜季、松田七海、金巻泰亮、今井雄星、西浜竜一、澤進一郎（口頭発表） *2.「植物ペプチドホルモンの機能多様化の謎に迫る」稲盛財団 3S 交流会（2025 年 4 月）<u>篠原秀文</u>（ポスター発表） *3.「Cell-cell communications with peptide hormone-receptor pairs in various plants」ABRC SEMINOR（2025 年 9 月）稲盛財団 3S 交流会（2025 年 4 月）<u>Hidefumi Shinohara</u>（口頭発表・招待講演） *4.「植物ペプチドホルモン研究のこれまでとこれから」第 282 回 遺伝子機能解析部門セミナー（第 409 回 細胞工学会研究会講演会）（2025 年 10 月）<u>篠原秀文</u>（口頭発表・招待講演） *5.「ゼニゴケでペプチドホルモンを研究する」神戸大学大学院理学研究科セミナー（2025 年 10 月）<u>篠原秀文</u>（口頭発表） *6.「活性に必須な翻訳後修飾チロシン硫酸化からみたペプチドホルモンの多様性」第 11 回植物二次代謝フロンティア研究会（2025 年 10 月）<u>篠原秀文</u>（口頭発表・招待講演） 7.「ゼニゴケが産出する硫酸化ペプチドホルモン PepC の機能解明にむけて」北陸植物学会 2025 年度大会（2025 年 11 月）早川創太、小林陸、加藤伸好、<u>篠原秀文</u>（口頭発表） 8.「ゼニゴケが産出する硫酸化ペプチドホルモン PepB の機能解明にむけて」北陸植物学会 2025 年度大会（2025 年 11 月）宮島歩花、<u>篠原秀文</u>（口頭発表）	
⑤その他の公表実績	【0本】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績
【学外】科研費・基盤（B）、科研費・挑戦的研究（萌芽）、2025 年度豊田理研スカラー共同研究 Phase1 【学内】戦略的課題研究推進支援事業、個人研究推進支援
(3)特許等取得
(4)学会活動等
日本植物学会学会誌・Journal of Plant Research Editor (2025 年 3 月～現在)

5. 地域・社会貢献活動

⑥

高志中学実験体験（2025 年 3 月、分子生物学実習担当）

福井プレカレッジ 実験体験（2025 年 7 月）

武生高校大学説明会（2025 年 7 月）

高志高校 SSH アドバイザー（2025 年 7 月、9 月）

鯖江高校模擬授業（2025 年 10 月）

6. 大学運営への参画

(1)補職

(2)委員会・チーム活動

カリキュラム WG（2023 年 4 月～現在に至る）

JABEE 委員（2023 年 4 月～2025 年 3 月）

(3)学内行事への参加

オープンキャンパス（2025 年 8 月、研究内容の紹介・展示）

(4)その他、自発的活動など